

鹿児島学習定着度調査結果について(リーフレット版)

本調査において、昨年度と同程度の結果となったことは、学習指導要領が求める資質・能力を意識した授業改善等が行われつつあると捉えることができます。各学校及び教員においては、目の前の児童生徒一人一人が、どの問題がなぜできなかったのか、また、どの部分でつまづいたのかをしっかりと把握し、どのような授業を行えばよかったのか、そして今後どのような授業を行うべきなのかを振り返ることが重要です。

このリーフレット版では、自校の結果を書き入れることで、各教科における県の全体通過率との比較や、課題となっている設問との比較ができるように作られています。また、二次元コードからは、各教科の解説動画を視聴することができます。職員研修等で視聴し、授業改善に役立ててください。



県の平均通過率と自校の結果

	国語	社会	算数	理科
自校の結果				
県平均	70.9	77.5	67.4	71.7

国語

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 **4** 3 全体版 P13

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現すること

県平均	自校
48.3	

ポイント

- 意見文を書く授業等では、内容が同じ人でグループを作り、そのグループで協力して様々な情報を集めましょう。
- 複数集めた情報を、そのグループで検討し、どのようなことが集めた情報から言えそうか話し合うなどの工夫をしましょう。

社会

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 **2** (3) 全体版 P18

日本各地の雨温図から、日本海側の気候を選択し、その理由を説明すること

県平均	自校
61.0	

ポイント

- 雨温図の読み取り方において、5つのキーワードを意識させましょう。
- 各地の気候はどんな特徴があるか、まとめたり、比較したりするなどして定着を図りましょう。

算数

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 2 4 全体版 P21

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること

県平均	自校
47.8	

ポイント

- 常に水平な辺が底辺である図形ばかり扱うのではなく、水平になっていない辺を底辺としている場合についても意図的に取り扱しましょう。
- 式が何を表しているのかを児童相互に読み取り、互いの考えを発表し合うなどの活動を取り入れましょう。

理科

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 2 1 全体版 P24

金属や空気の温まり方について理解すること

県平均	自校
66.5	

ポイント

- 予想の際に、温まり方を絵や文字で表す、すなわち視覚化するよう促すことが大切です。
- 予想の際に、根拠を問うことで、互いの考えの違いが明確になり、どこに着目して観察、実験を行えばよいのかが明確になります。

児童生徒質問紙及び学校質問紙について

全体版 P6

ポイント

- 児童生徒が「授業がよく分かる」と回答する割合が小学校で4～5割、中学校で2～3割にとどまることや、「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導方法に関する調査項目では、学年が上がるにつれて課題が見られることなどが分かります。
- こういった課題を解決するためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が行われる必要があり、その前提にあるのは、「学習者主体の学び」であると考えられます。
- こうした「学習者主体の学び」を支える上で特に重要である「学びに向かう力、人間性等」について、調査対象学年は異なりますが、約1年前の全国学力・学習状況調査時の数値を上回りました。
- 各学校等において行われつつある非認知能力の育成を図るための各種取組を充実させることで、「学びに向かう力、人間性等」を更に育てていきたいと思います。